

## あきた未来総合戦略における基本目標ごとの進捗状況について

## 基本目標1 産業振興による仕事づくり

## (1)数値目標及びその達成状況

数 値 目 標	現状値(H26)	目標値(H28)	実績(H28)	達成率(%)
雇用創出数 平成31年度までに 12,630人 (5か年分の累計)	2,175	H27 2,235	H27 2,035	H27 91.1

## (2)施策ごとの重要業績指標(KPI)の状況

達成	未達成	なし・未判明
20	18	7

## (3)推進状況

- 地域産業の競争力強化については、航空機産業の製造品出荷額や風力発電導入量等が目標には届かないものの着実に伸びているほか、企業誘致が順調に進み、雇用の創出が図られている。
- 農林水産業分野については、農業法人の規模拡大や新規就農者の確保などの取組の成果が現れるとともに、園芸メガ団地の整備の促進等の取組による複合型生産構造への転換や6次産業化推進の取組などが着実に進みつつある。
- 観光分野については、世界的な知名度を誇る秋田犬を活用した国内外でのプロモーションをはじめ、文化やスポーツによる交流人口の拡大などに意欲的に取り組んでいるものの、国内旅行市場が全国的に縮小傾向にあること等が影響し、本県の延べ宿泊者数が伸び悩んでいる。

## 基本目標2 移住・定住対策

## (1)数値目標及びその達成状況

数 値 目 標	現状値(H26)	目標値(H28)	実績(H28)	達成率(%)
Aターン就職者数 平成31年度に 1,700人	1,061	1,550	952	61.4
本県への移住者数 平成31年度に 220人	20	100	293	293.0

## (2)施策ごとの重要業績指標(KPI)の状況

達成	未達成	なし・未判明
9	6	2

## (3)推進状況

- 首都圏における移住相談窓口の設置・運営や、多様なメディアを活用した移住情報の発信、移住者に提供するために空き家を改修する市町村への助成、移住者受入体制の整備、移住起業家育成プログラムの実施など、移住者のニーズを踏まえたきめ細かな取組により、移住者は大幅に増加している。
- 移住・定住施策と連携し、多様なツールを利用した情報発信等により、Aターン登録者数は増加しているものの、国内の人材獲得競争の激化の影響でAターン就職者数は伸び悩んでいる。
- 大卒・高卒者の県内定着に向けては、奨学金助成制度を創設しその周知を行ったほか、秋田県就活情報サイトによる県内企業情報等の提供や、地元企業とのマッチング支援等を行った。

## 基本目標3 少子化対策

## (1)数値目標及びその達成状況

数 値 目 標	現状値(H26)	目標値(H28)	実績(H28)	達成率(%)
婚姻数 平成31年に 4,020件	3,842	4,020	3,510	87.3
合計特殊出生率 平成31年に 1.50	1.34	1.42	1.39	97.9

## (2)施策ごとの重要業績指標(KPI)の状況

達成	未達成	なし・未判明
11	2	0

## (3)推進状況

- 合計特殊出生率は、前年に比べ0.04ポイント上昇している。
- 脱少子化モデル企業数や次世代法に基づく一般事業主行動計画策定件数等が増加しており、仕事と子育てを両立できる環境づくりが進んでいる。
- あきた結婚支援センターにおける成婚報告者数は着実に増加し、平成29年4月に1,000人を突破したものの、全国と同様に適齢期人口の減少等により、県全体の婚姻数は減少している。
- 不妊治療に対する積極的な支援に取り組んでおり、不妊に悩む夫婦の精神的・経済的負担の軽減につながっている。
- 地域の様々な保育ニーズに対応する保育サービスの提供を図るとともに、認定こども園を目指す幼稚園・保育所への指導やフォローアップを実施し、保育の受け皿の充実を図った。
- 子育て世帯の経済的負担の軽減を図るため、平成28年度から保育料助成や、子どもの医療費助成の拡大、多子世帯向け奨学金制度の創設など、さらに充実した支援を行っている。

## 基本目標4 新たな地域社会の形成

## (1)数値目標及びその達成状況

数 値 目 標	現状値(H26)	目標値(H28)	実績(H28)	達成率(%)
「住んでいる地域が住みやすい」と思っている人の割合 平成31年度に 80%	—	65.0	66.6	102.5
社会活動・地域活動に参加した人の割合 平成31年度に 68.0%	46.4	56.0	42.0	75.0

## (2)施策ごとの重要業績指標(KPI)の状況

達成	未達成	なし・未判明
11	9	1

## (3)推進状況

- 県と市町村が一体となって推進する未来づくり協働プログラムについては、25市町村全てにおいて取り組むこととなった。
- 地域コミュニティの再構築については、地域課題解決のためのトライアル事業の実施やお互いさまスパーの設置などに加え、シニア人材の発掘と地域ニーズの掘り起こしを図るなど、着実に進展している。
- 男女イキイキ職場宣言事業所が増加しているほか、女性活躍推進法に基づく行動計画の策定に取り組む事業所(300人以下)も専門家の訪問支援などにより大幅に増加するなど、女性が活躍できる環境づくりが進んでいる。また、地域貢献活動を行う若者団体が増加しているなど、若者団体の育成、ネットワーク化が図られている。
- 安全安心な暮らしを守る環境づくりとして、雪対策に取り組む共助組織が順調に増加しているほか、長寿命化計画策定や生活排水処理の広域共同化に係る取組も順調に進んでいる。また、CCRCの導入については、徐々に具体的な取組も出てきている。